

コラム

# みやちゃん と ご一緒体験記

Vol.52

## あたりまえをすべての人に

昔ほど忙しい日常を送っているとはいえ、ゆるゆるとした日常にチェンジしてかれこれ5年ほど。それでも一日が過ぎる速度は急な坂道を転げ落ちるような速さだと実感しています。パリ五輪が開催されるのは今夏（7月下旬）と聞いてはいたものの、ずっと先だと思っていたのにもうすぐなのだ気づき、食品の買い出しにいったところ、やけに人が少ないと感じていたら、いつしかGWにはいっていたのだと気づき驚いた次第。会社員ではありませんので自分で予定を調整できますが、カレンダーの赤い日を見て、「はて、何の日だったっけ？」と思うことしばしば。5月3日は憲法記念日、ということは何故かしっかり覚えているのでした……。

ご存じのとおり、日本国憲法が公布されたのは戦後の1946年11月3日（文化の日）。施行されたのが翌年1947年5月3日なので、この日が憲法記念日に制定されました。敗戦国となった日本は、GHQ（連合国軍最高司令官総司令部）の統治下におかれ、様々な改革が進められました。その一つが憲法であり、それまでの大日本帝国憲法に代わる新たな憲法がGHQによって作られ制定されました。

大日本帝国憲法と新たに制定された日本国憲法の違いは、

- 主権者が、天皇
  - 国民、
- 人権が、「法律の範囲内の臣民ノ権利」
  - 生まれながらにもつ権利として保障、
- 国民の義務が、兵役、納税の義務
  - 普通教育を受けさせる、勤労、納税の義務、

に変わりました。

字数に制限がありますので詳しく書けませんので、時間がある時にわが国の憲法の内容やどのような形で誕生したか、じっくり学び直すことをお勧めします。昭和という時代が遠くなりつつありますが、日本国憲法関係のドラマや映画は多く製作されていますので、ご覧になると参考になることでしょう。ここでは、基本的人権についてもう少し触れたいと思います。

基本的人権とは、

- 人が生まれながらにして持っている人間としての権利
- 侵すことの出来ない永久の権利
- 人の個性を尊重する個人の尊重の考え方をもとにしている

この世に生まれた者であるならば、誰もが平等に持っている当然の権利であり、親であろうと制限することができないもの、ということです。しかしながら、基本的人権の尊重は、「当たり前」ではありませんでしたし、どんなに豊かな時代になった現在も当たり前ではないといえます。宗教の違い、肌の色の違い、女（男）なのに男（女）になりたがったりする人などに対する偏見や差別に端を発した争いが絶えないのはその証左でしょう。

4月22日夜、みやちゃん（宮原富士子）が理事長を務めるHAP主催の講座「SRHRをふまえた女性の健康支援をめぐる法制度と地域での展開」がオンライン開催されました。

「SRHR（セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルツ&ライツ）」とは、「性と生殖に関する健康と権利」の意味で、国際的に基本的人権のひとつとして考えられています。この日は、HAPの若林由香子さん（薬剤師）とみやちゃんが「SRHRをふまえた日本社会の課題」について詳しく紹介しました。

端的には（研究会のHPによると）、「SRHRは、自分のからだや自分の人生は自分のもので、誰かに強制されるものではないし、誰かのために捧げるものでもない、という当たり前のことを当たり前を保証しよう、という理念」としています。

\* SRHR Initiative（研究会）HP <https://srhr.jp/srhr/>

全ての「性」と「生き方」に関わる重要な概念であり、特に女性にとって力強い権利といえますが、現状を考えますと決してプラスに働いているとはいえません。

配偶者を自分の所有物のように扱い（勘違いし）暴力で支配しようとする夫婦の問題は多く、しばしば悲惨な事件が報道されています。

望んでいないのにデート中に恋人から性交を強要されたり、望まない妊娠をしたた

めに中絶を希望するも日本では配偶者の同意が必要なため叶わなかったり、というケースも多くあります。

みやちゃん達が精力的に取り組んできた緊急避妊薬（アフターピル）は医師の処方箋なしでも購入できるように一部の薬局で試験販売中となっていますが、高額なため購入できない人が多いのも事実で、まだまだ多くの課題があります。

昭和史に残る人気ドラマ、1983年に放送された連続ドラマ小説「おしん」の主人公は、東北の貧しい農村に生まれ、米一俵と引き換えに子守奉公にだされました。不運に耐える幼いおしんが明治・大正・昭和を生きる姿に涙した人は少なくありません。また、昔の女性は、子どもを産むことができないと実家に戻されることも珍しくありませんでした……。

女性の味方ともいえるSRHR……。支援となる法制度が整うことが急がれますが、それ以前に、自身が生きていく上でこの権利をしっかりと活用するためには、妊娠の仕組みや病気の予防など正しい知識を身につけることが大事なのは言うまでもありません。性教育をしっかりと受けていない若者向けには、性について相談できる場所が必要とも考えられます。参考となる情報を若林さんと宮原さんが教えてくれましたので、是非アクセスしてみてください。

\* [性と恋愛のライフスキルを身につけるSRHR学習キット 性とからだのMYノート](#)

[「SRHR NOTE」| HOT TOPICS | 国際協力NGO ジョイセフ \(JOICFP\)](#)

\* [みんなの妊活『妊活白書2023』| ロート製薬: 商品情報サイト \(rohto.com\)](#)

\* [家庭ではじめる性教育サイト「命育」| 医師専門家による性の情報・教え方 \(meiiku.com\)](#)

人は皆、幸福になるために生まれてきています。世界中のすべての人が「あたりまえ」の人生を享受できるように！

\* HAP <http://www.hap-fw.org/>